

混和会とは、共に許し合いながら、他の人格を尊重し、共に生きる和の構築を目指す集いです。

# ほとけの 混和会だより

令和三年七月

東光院

仏の混和会

第154号

お変わり御座いませんでしようか、依然としてコロナウイルス収束の兆しは見えて参りません。  
檀信徒の皆様にかかれましてはくれぐれもお体ご用心下さり、この苦難の時を無事乗り切れるようお祈り申し上げます。



山川草木悉有仏性

山・川・草・木・  
皆悉く仏性を有している

仏教の教えにタイトル(サンセンソウモクシツウブツショウ)の如く山川草木悉有仏性と言う教えが有ります。

この教えは大自然の様々な営みや生命、全てに仏性を有しておりその営みの中で様々な命は網の目の如くつながりあい共に生かされて居ると言う教えです。

これは私達人類も例外では無く、大自然の一部としてこの営みの中で他の命を頂いて生かされており、この真理を外れて生きる事は不可能な事です。よって人間の欲望だけによる開発では人間の存続は有り得ず、ましてや私達の個人的な都合で生きる事は無意味なことで生きる事の意義も真の幸を得る事も出来ません。と仏陀は忠告して下さいました。

この仏陀の忠告を、私達はそれぞれの欲望にかき消され聞く耳を持つことが出来ませんでした。しかし昨今仏陀が示された

とおり、人間の欲望は、地球の温暖化による大きな自然災害を招き、又気候変動による食糧危機や飲料水の枯渇、更にマイクロプラスチック等の様々な公害による生命存続の危機的状況下に追いやってしまいました。

私の幼少の頃は太陽とともに朝を迎え月とともに就寝する。このように自然の営みの中に身を置いて知らず知らずの内に自然崇拜の生活を送って居ました。

昨今、人類は大自然の営みに感謝の念を抱くことを忘れ、更に競い合う開発に自然との調和を忘れてしまったかのように思われます。

科学の発展はめまぐるしく、大変便利になりました。しかし人類の欲望を満すだけの科学は大変な不安と恐怖を感じます。

地球上の様々な生命と人類、更に人間と自然との調和、これが一体となって初めて人類の存続が可能かと思えます。

今となつては大変困難なことではあります。が、脱炭素社会を実現するにはとても有意義な対策で、さけて通れない課題かと存じます。

亮観拝



しよ ほう じつ そう  
諸 法 実 相

春がめぐりくれば花が咲き、秋になれば木の葉が紅葉する。その自然なありようが、法(のり)の相(すがた)、仏のすがた、つまり諸法実相と言います。

これは釈尊の説かれた法華經の真髓で大自然の営み、そのものが御仏の導きですよと説いて下さりました。

「何事も全て御仏の導きと受け止めて、あるがままに生きる。」

私達は己の思いや執着にしばられ様々な不安や迷いを抱き自ら苦しみを招いて、もがきあけきながら人生を歩んでおります。しかし、何事も御仏の導きと受け止めたとき、迷い、苦しみは軽減され、安心も抱けます。



# 日本の仏様



今月より国籍や文化等の垣根を越えスポーツを通じ共に愛平和、環境保護等を考える事を目的としたオリンピック・パラリンピックが開催予定ですね。私も微力ながら文化庁さんとお仕事をさせて頂いたりもしました。日本ではこのオリンピックの略称として「五輪」と呼びます。この略称は新聞記者が名付けたとされていますが、元来五輪とは仏教用語でした。そこで今回はこの「五輪」にまつわるお話を紹介致します

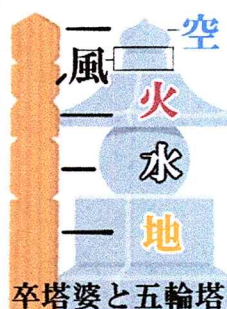
## 五輪

インド哲学（密教）の考えでは宇宙の全ては「地・水・火・風・空」の五つの要素から構成されていると考え、この総称を五輪（又は五大）と言います。また、オリンピックのロゴと同じように五輪にも色と性質が決められており「地」黄色大地。揺るぎない性質。肉体が生まれる帰る場所。  
 「水」白色流体・体内の水分。循環を表す。  
 「火」赤色熱量 力強さ血液であり体温。

● 「風」黒色（紫）成長や拡大。生命の息吹。  
 ● 「空」青色（緑）空間。魂は空から降り、空へ帰る。

人もこの五つから形成されていると考えました。そのことから、先祖供養に五輪を表した石を五つ重ねた「五輪塔」というお墓を建立する文化が生まれました。これは塔を建立することで故人の肉体は五輪に帰り無事に往生する事を願ったことから始まりました。時代と共にこの五輪塔の考えは卒塔婆に引き継がれます。卒塔婆がギザギザしているのは五輪を表しているからです。

余談：ヘイトクライムが問題視される中、地球規模で皆が等しく手を取るスポーツの五輪もとても素晴らしい趣旨の祭典であるとは思いますが。平和を願う祭典です。で良くない結果にならない事を願うばかりです。



## 仏教とSDGs

山川草木悉有仏性、「おかげさま」「もったいない」などと自然との共生に感謝の念をささげて生きる。この伝統的な仏教の価値観は、世界の人々がこの地球で未永く生きていく為に掲げられている課題「SDGs」の実現にとっても有効であります。この価値観を世界の人々と共有出来るよう、全日本仏教青年会、比叡山宗教サミット、日本宗教代表者会議、その他、日本の各宗派の仏教団体が世界各地に発信しております。

私達人類と様々な生命が、この地球で共に生きる為に、仏教の果たしうる役割はとても大きいものと存じます。

おそばの種まきを致します。

八月二十九日（日曜）

午前九時～十一時

そばの種まきを致します。コロナ感染拡大、ともに集う行事は大変心配ですが、もし感染収束の折には、ご奉仕頂けましたなら幸いに存じます。

◎ 自然と共に生きる学びとして行っております。お子さん達の参加、大変嬉しく存じます。

◎ このおそばは暮れの大掃除、節分、花祭りにご接待させて頂きます。

◎ そばの花の満開時期は十月中旬です。花見にどうぞおいでになって下さい。

